



いずみ

令和8年1月30日発行

＜学校教育目標＞
自ら行動する子
かかわり合い、
よりよい自分を
目指す子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

子供たちの声

教務主任 石橋 玉有

新しい年を迎えてから1ヶ月が経ちました。学期初めの子供たちは、旅行したことやお年玉をたくさんもらったことなどお正月に満喫したことを笑顔で話してくれました。今年度も残すところ35日です。各学年でたくさんの思い出をつくり、次の学年に進級してほしいと思います。2026年、午年。皆様にとって何事もうまくいく幸多き1年となりますようお祈り申し上げます。

今年度も学校評価アンケートのご協力、ありがとうございました。アンケートの児童結果(裏面)を見ていただく分かるように、肯定的な評価が全項目で85%以上という高い数値が見られました。特に「自分と他者を大切にしようとしている」が98.4%、「学校は地域や家庭であなたの安心・安全を守ろうとしている」が98.9%と高く、安心して過ごせていることが読み取れます。また、「よりよい学級、よりよい学校になるように考えて行動している」95.3%、「学校の行事を楽しみ、達成感を感じている」96.4%、「学校の行事にすすんで取り組んでいる」93.8%と高い数値が見られました。

和泉小学校では、授業や学校行事の中で子供たちの主体性を高めるために様々な取組を行ってきました。校内研究での「問い」のたせ方、児童運営委員会でのよりよい学校づくりに向けての対話など、これらの取組による成果が結果に反映され、子供たちの充実した学校生活に結びついていると考えています。

この背景には、日々の継続した指導や真っ直ぐに子供と向き合い、寄り添う支援を行ってきた教職員のひたむきな姿勢があります。「子供の声を聴こう」「どんな発問をすることで授業にあった問いに迫ることができるかな」「子供たちの思いや願いを叶えよう」「今まではこうしていたけど、子供たちと一緒に考えてみよう」などと、子供たちの声から授業づくりや行事づくりを進めたことで、子供たちの様子にも変化が表れました。教職員の日々の努力が子供たちの主体性の高まりという大きな成果として表れることで、更なる励みとなっています。

予想が困難な時代を乗り越えていく子供たちだからこそ、大人が決めたルールや道だけを歩むのではなく、自分たちの思いや願いから自己実現を目指していくことを大切にしてほしいと思います。私たち教職員は、アンケート結果を大きな原動力に変え、次へのステップを目指し、「児童が主役」をキーワードに子供と大人が協働する、よりよい学校を築いていきます。

しかし、学校だけではこのような成果を得ることはできません。子供たちの懸命な姿、保護者・地域のたくさんの支えがあったことも十分理解しています。たくさんのご支援・ご協力ありがとうございました。教職員一同、感謝申し上げます。

来年度も和泉小学校は様々な取組を実践していきます。保護者と教員の信頼をさらに深めるための保護者教員懇談会と学級通信 Sway の充実、個人面談の在り方や子供たちの通知表、学級担任の在り方、学校行事の見直しなどを進めていきます。今年度と同様に保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力が必要となりますので、今後とも本校の教育活動を温かく見守り、サポートいただけたら幸いです。

最後になりますが、保護者の皆様や地域の皆様にとたくさんのご理解・ご協力を賜ったことで円滑に教育活動を進めることができました。この場をお借りして、感謝申し上げます。残りの学校生活を子供たちがよりよく過ごせるように尽力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

2月の安全指導

遊びのきまり

○外遊びや教室遊びのきまりについて再度話し合い、全校児童が安全に楽しく過ごせる休み時間を子供たちと作っていきます。